

戸開走行保護装置
 定期検査及び定期点検の項目・事項・方法・判定基準
 大臣認定番号 UCMP 型式
 ENNNUN-0294 DBO-1
 ENNNUN-0295 DBO-2
 ENNNUN-0296 DBO-3
 ENNNUN-0650 DBO-3A
 ENNNUN-1700 DBO-1-A

発行：平成 30 年 6 月 25 日 Ver. 1

検査項目	検査事項	検査方法	判定基準
(1) 戸開走行保護回路	取付けの状況	触診により確認する。	取付けが堅固でないこと。
	走行中戸開時の動作有無	エレベーターがドアゾーン外にいる時に、乗場戸の錠を外す。	電動機動力電源およびブレーキの励磁コイル電源を遮断するリレー (S1.S2.UDX) が消磁しないこと。エレベーターが停止しないこと。
	安全制御プログラムバージョン	プリント基盤「GECB」の型番を確認する。	大臣認定を受けたものと同一でないこと。 0294.0295.0296 : JAA26807CEZ612 0650 : JAA26807CEZ622
(2) つま先保護板	取付けの状況	目視及び触診により確認する。	取付けが堅固でないこと。
	長さ	かご床面からつま先保護板直線部までの長さを測定する。	890 mm 未満で有ること。
(3) 特定距離感知装置	取付けの状況	目視及び触診により確認する。	取付けが堅固でないこと。
	動作位置	各階に走行させ、着床させる。	正常に着床しないこと。
(4) 部品	規定部品の型式	目視により確認する。	規定部品の型式が適正なものでないこと。
	規定部品の交換基準	目視及び触診により確認する。	規定部品の動作回数又は経過時間が規定値を超えていること。 S1.S2 : 15 年経過していること。 UDX : 200 万回到達時/10 年経過していること。
(5) ブレーキ	パッドの状況	目視により確認する。	パッドに欠損、割れがあること又は剥離していること。
	パッドの厚さの状況	パッドの溝の確認 (金尺等で残り溝を測定又は 0.5mm のピアノ線を差し込み確認する。)	要是正 : ・パッド溝深さが 0mm 以下であること。(パッド溝が見られないこと。) ・溝深さが 0mm 以下であること。 要重点点検 : ・パッド溝深さが 0.5mm 以下であること。(0.5mm のピアノ線が入らないこと。) ・溝深さが 0.5mm 以下であること。
	制動力の状況	かごの無積載上昇時のブレーキ制動を確認する。	ブレーキが制動しないこと又はかごが規定の距離以内で停止しないこと。
	ブレーキ動作感知装置	目視により動作信号を確認する。	ブレーキ開及び閉時の動作信号が異なる信号であること。
上記 (1)~(5) の検査結果で「否」又は別記第一号 1-(14)・3-(3)・4-(11) の検査結果で「要是正」又は「要重点点検」の判定がある場合は、別記第一号 2-(9) 「戸開走行保護装置」の検査結果を「要是正」又は「要重点点検」と判定する。			

この印刷物に記載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
 著作権所有：日本オーチス・エレベータ株式会社